

2010 年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生選考試験

学科試験 問題

(高等専門学校留学生)

日 本 語

注意 ☆試験時間は 60 分。

☆答えは全て解答用紙に記入すること。

問 1

次の文章の内容と合っているものはどれですか。

ストレスという言葉をはじめて使ったのは、1935年ごろ、カナダの生理学者ハンス・セリエ博士である。ストレスは、病的疾患を引き起こす場合があるというストレス学説は有名である。晩年になって次のように追加した。

「ストレスには、よくないストレスのほかにも、よいストレスとしてユーストレスがある。人間はストレスのない環境で生きることはあり得ない。何らの刺激があり、それが人の体や心により方向に作用するものがユーストレスである」と。

箱入り娘という古い言葉がある。ガラスの箱入り人形のように、世の中の刺激から遠ざけるような環境に置きっぱなしにしておくと、精神的にひ弱になり、少しでも寒風に身をさらせば風邪をひくことになる。

戦前、真冬の早朝に寒稽古が行われた。寒さに抵抗できるように心身を鍛えるための行事であった。

今では、刺激は何でも避けたほうがよいという考えが広がり、適当なストレスを与えて心身を鍛えることが疎んじられている。

(日野原重明「私の視点・ウィークエンド ストレス」朝日新聞 2002年8月24日)

1. 人間はストレスのない環境で生きるのが理想的である。
2. 子どもは世の中の刺激から離して育てたほうがよい。
3. 人は刺激がなくても、ストレスに対する抵抗力はできる。
4. 心と体を強くするために、適当なストレスは必要である。

問2

次の文章は田中さんが先輩の川上さんに書いたメールです。川上さんは、駅に着いたらどうすればいいですか。

日時 : 10/19 12:55
差出人 : Tanaka S [shotanaka@intex.xxx.ac.jp]
宛先 : Kawakami R
件名 : 11月21日

川上先輩

メールをくださり、ありがとうございました。早いもので、私がこちらでの生活を始めて、もう2年になります。

先輩は来月21日に旅行でこちらへいらっしゃるとのこと。ぜひお会いしたいと思います。こちらには景色のいい、散策にはもってこいの場所がありますので、よろしければご案内します。

列車がこちらに到着する時刻がわかりましたら、お電話ください。お電話をいただいてから車で駅に向かいますので、遅くとも到着の1時間くらい前までにお電話いただくと安心です。中央駅の改札口を出て右手に少し行ったところにバス停があり、そこに車が止められるので、そこで待っています。

泊まるホテルはお決まりですか。こちらで手配することもできますので、もし必要ならお知らせください。

それでは、お会いできるのを楽しみにしています。

田中

1. バス停の方へ行く。
2. ホテルの予約を確認する。
3. 田中さんに電話をかける。
4. 駅の改札口で待つ。

問3

次の文章は「農業体験農園」について書かれたものです。農家の人が、これを始めようと思った理由の一つとして適当なものはどれですか。

プロの農家から手ほどきを受けながら、野菜作りに励む「農業体験農園」が人気だ。失敗がなく、安心できる野菜を味わいたい消費者のニーズと、農地の保全や農業への理解を求める農家の思いが合致。都内だけでも50カ所を数える。相変わらず食への不安がぬぐえないなか、“コーチ付き”農園は首都圏の各地で広がりを見せている。

…(略)…

この農業体験農園は平成8年に始まった。農地を貸し出すだけの一般的な市民農園とは違い、プロ農家の“コーチ”がつく。ここでは就農25年の加藤^{かとう}さんが講習会の前に作付け計画を立て、肥料や農薬を加えるタイミングまで綿密に指導する。指導なしで作るより、失敗がなく収穫量も多いと評判だ。

(産経新聞 2008年6月23日 東京版)

1. 安心できる野菜を作りたいから
2. 収穫量を増やしたいから
3. 農業を理解してもらいたいから
4. 農業ができる人材を育てたいから

問4

次の文章の（ A ）に入るものとして最も適当なものはどれですか。

それぞれの家電製品には正しい使い方があって、別の目的で使うことはできない。

ところがパソコンはちがう。これといった使い方限定されない。最初ワープロとして使おうと思って買ったけど、あとから絵を描くことに使うこともできる。さらに購入した後にソフトウェアやハードウェアを追加することで、いくらでも用途が広がる。パソコンは今まで私たちが接したことがない、特異な商品なのだ。

なんにでも使えることは素晴らしいことだ。少なくとも言葉の上では素晴らしいし、イメージ的にも素晴らしい。しかし、イメージはイメージだ。「なんにでも使えるの？ じゃ、わたしにも必要なんだわ」と考えるのは短絡である。その「なんにでも」と「あなたの必要性」が合致しているかどうかはわからない。重要なことは、「（ A ）」ということだ。

(小幡浩二『パソコンはいらない』講談社)

1. パソコン本体がどんな機能を持っているか
2. 実際のあなたの生活で、使い道があるか
3. どのようにしてパソコンの使い方を学ぶか
4. パソコンのソフトをどれだけ追加できるか

問5

次の文章は青木君が田口君に送ったメールです。録音用の機材について、田口君はどうすればいいですか。

日 時 : 6/29 22:15
差出人 : Aoki [saoki@stux.xxx.ne.jp]
宛 先 : Taguchi H
件 名 : 次回の勉強会

田口君

次回の勉強会は、来月の14日になりました。それまでに、前回の勉強会で配った資料を読んで、インタビュー調査をし、音声データを準備しておいてください。

資料は僕のロッカーに入れてあります。中に入っているのは、この資料だけなので、すぐわかると思います。かぎはかかっていません。

それから、録音に使うマイクなどの機材は、山川君に僕のを貸してあるので、直接借りてください。山川君には僕からも連絡しておきます。

それでは。

青木進

1. 山川君に渡す。
2. 山川君から受け取る。
3. 青木君のロッカーから取る。
4. 青木君から次の連絡を待つ。

問6

次の文章の内容と合っているものはどれですか。

学生のレポートを読んでいて、はっとすることがある。レポートらしくデアル体で書いてあるのに、終わりのほうになって突然デス・マス体があらわれるからだ。こういう乱れは一般に幼稚な感じを与える。が、単なる姿勢のゆれというより、その箇所だけ表現態度を変えたものらしい。そこはきまって担当教員に向けて書く情報なのだ。素人の書き手^{しろうと}だけではない。本の「あとがき」などを読んでいても、世話になった人に謝辞を述べる部分だけ劇的にデス・マス体になる例をしばしば目撃するからだ。つまり、書いていて個人の顔が浮かんでくると、その人物と向き合っているような気になるのだろう。

(中村明『日本語のコツ』中央公論新社)

1. デス・マス体の文章は幼稚な感じを与えるので避けたほうがいい。
2. レポートには担当教員に向けた挨拶^{あいさつ}を書かないほうがいい。
3. 人に丁寧に礼を言うときに用いる文体は、デアル体である。
4. 書き手の意識によって、文体が使い分けられることがある。

問 7

電化について、次の文章の内容と合っているものはどれですか。

日本に住む私たちは電気に支えられた便利な生活をしている。一方、世界全体では、電気のない暮らしをしている人は16億人にのぼる。特に、都市部から遠く離れた村落では、送電するための設備に莫大なコストがかかるため電化はなかなか進まない。そこで注目されるのが、太陽や風力などの自然エネルギーによる発電だ。小さな電力を村の中で作り、村で消費する。小さな村でも自然エネルギーの資源なら十分にある。さらに、自然エネルギーによる発電は地球温暖化の原因にもならないし、原子力発電のような事故のおそれも、また使用済み燃料の処理問題もない。

なければ命にかかわる水や食料などと異なり、電気はなくても生きていけるかもしれないが、やはりさまざまな不便が残る。村の電化は、村の暮らしを近代化するための第一歩だ。

(独立行政法人国際協力機構「自然エネルギーの新たな役割」『国際協力』2005年8月号
を参考に作成)

1. 自然が豊かなら、電化しなくても村の暮らしは困らない。
2. 村を電化するなら、自然エネルギーによる発電が有効だ。
3. どんな方法で電化しても、何らかの問題点が残る。
4. 原子力発電による村の電化が、待ち望まれている。

問8

次の文章で、下線部「この時間に育つもの」の一つとして述べられているものはどれですか。

読書は、一人のようで一人ではない。本を書いている人との二人の時間である。著者は目の前にいるわけではないので、必要以上のプレッシャーはない。しかし、深く静かに語りかけてくる。優れた人の選び抜かれた言葉を、自分ひとりで味わう時間。この時間に育つものは、計り知れない。読書好きの人はこの一人で読書する時間の豊かさを知っている。

インターネットの隆盛に伴って、すべてを情報として見る見方がいっそう進むであろう。素早く自分に必要な情報を切り取り、総合する力は、これからの社会には不可欠な力である。しかし、何かに使うために断片的な情報を処理し総合するというだけでは、人間性は十分には培われ得ない。

人間の総合的な成長は、優れた人間との対話を通じて育まれる。身の回りに優れた人がいるとは限らない。しかし、本ならば、現在生きていない人でも、優れた人との話を聞くことができる。優れた人との出会いが、向上心を刺激し、人間性を高める。

(齋藤孝『読書力』岩波書店)

1. 読解力
2. 情報処理技能
3. 人間性
4. 自己表現力

問9

次の文章の（ A ）に入るものとして最も適切なものはどれですか。

小さいとき、二年ほど海辺の町で過ごしたことがある。そこで体験した海や川の自然の素晴らしさは、忘れられない思い出となった。また、そのとき叔母たちから図鑑というものを教えられ、感動してその虜とらこになった。一方では、物語や小説など書物の世界も私を魅了した。テレビは私が七歳のときにわが家に登場したが、そのころまでには、私は自分で読書する喜びをすっかり身につけていた。科学に対する興味はずっと持続していたが、中学、高校のころには、歴史、哲学、文学を読み漁あさった。

そんなわけで、私は、根っからの「理科系」でも、根っからの「文科系」でもないような気がする。最終的には科学者になったのだから、科学に対する興味が勝ったのだが、（ A ）。

（長谷川眞理子『科学の目 科学のこころ』岩波書店）

1. 文学などにはまったく興味のない理科系人間というわけではない
2. これは結局、私は文学に関心がなかったということなのだろう
3. 文学にも科学にも大して興味を持っていたわけではない
4. これによって私が文科系人間であることが証明されたわけである

問 10

次の文章の内容と合っているものはどれですか。

近ごろ、味を感じない「味覚障害」という病気になる人が増えているそうだ。人は、甘さ・塩辛さ・すっぱさ・苦さ・うまみという5種類の味を、舌の表面などにある味蕾^{みらい}という器官で感じるのだが、不規則な生活や栄養不足などで新陳代謝がうまく進まないと味蕾の働きが衰える。

薄い味が分からなくなるため、当然、濃い味付けを好むようになり、その結果、塩分や糖分の摂取が増える。味覚障害は、高血圧や糖尿病につながる深刻な問題だ。味覚障害を予防するには、規則正しい生活とバランスを考えた食生活が大切だ。特に亜鉛は、細胞分裂を活性化させる働きがあるので、味蕾の再生を助ける。亜鉛は、牡蠣^{かき}やあわび、レバーなどに多く含まれている。

(「味覚障害を調べてみました」朝日新聞 2004年3月22日 を参考に作成)

1. 「味覚障害」は栄養不足を引き起こす。
2. 「味覚障害」は新陳代謝を低下させる。
3. 「味覚障害」は他の病気の原因となりうる。
4. 亜鉛は「味覚障害」を悪化させる。

問 11

次の文章は、ある有名な作家が書いたものです。下線部「恥ずかしくいまでも思います」の理由として、最も適当なものはどれですか。

「あんたは物を書く人だってね。最初の本はいつだったのかな。どんな本だったのかな」
私はよろこんで、デビュー作となった本のことを話してから、「一週間たたないうちに10万部以上売れた」と付け加えました。なんと物を知らなかったことかと、恥ずかしくいまでも思います。

おじいさんは、ふいとまじめな目つきになってこう言ったのです。

「本の値打ちというものは、短い間に何万部何十万部が出るからといって決まるものじゃないんだよ。何版が何年何十年出つづけたかによって決まるものじゃないのかね。時の試練に耐えて、いつの時になっても、社会の様子がどう変わっても、いちどに1000部でも100部でも出つづけて読まれつづける本こそ、本というものじゃないのかね」

(犬養道子『本 起源と役割をさぐる』岩波書店)

1. おじいさんが偉い作家だと知らなかったから
2. 10万部以上売れる本がたくさんあると知らなかったから
3. 自分の本の内容に自信を持ち過ぎていたから
4. 自分の本が発売時にたくさん売れたことに価値があると思っていたから

問 12

次の文章は、資料や書類を整理する方法について述べています。この内容と合っているものはどれですか。

最初に導入手順を述べる。まず、本棚に一定の区画を確保する。多分本が詰まっているだろうから、どける。そして、角型二号の封筒（332×240ミリ。A4判の書類が楽に入る封筒）を大量に用意する。それから、マジックペンなどの筆記用具。準備は、これだけである。

さて、机の上に散らばっている書類などを、ひとまとまりごとに封筒に入れる。このまとまりを、「ファイル」と呼ぶことにする。封筒裏面の右肩に日付と内容を書く。封筒を縦にして、内容のいかんにかかわらず、本棚の左端から順に並べていく。これで終わりである。

…（略）…

以後、新たに到着した資料や書類は、同じように封筒に入れて、本棚の左端に入れる。取り出して使ったものは、左端に戻す。このような操作を続けていくと、使わないファイルは、次第に右に「押し出されて」いく（このために「押し出し式」と呼んでいる）。端に来たものは使わなかったものなので、不要である確率が高い。そこで、確かめた上で捨てる。

（野口悠紀雄『「超」整理法』中央公論社）

1. ファイルは分類して本棚に入れる。
2. 使ったファイルは元の場所に入れる。
3. 押し出されたファイルは左端に戻す。
4. ファイルは右から確認して捨てる。

問 13

次の文章で筆者が最も言いたいことはどれですか。

他人の目に見える自分の才能、資質はごくわずかでしかない。また、自分の目に見える才能や資質も、細胞の巨大な倉庫に埋蔵されたそれと比べると、海面に現れた氷山のよう
に、まことに微々たるものといわなければならないのである。そのような未知な自分ととも
に人間は生き、そして死んでゆく。

残念なことである。だが、自分の才能資質をすべて発見し、自分という人間を完全に理
解するには、人生はあまりに短すぎるのだ。

しかし、だからといって、未知の自分を発見しようとする努力を、怠っていいものだろ
うか。

私は、そうは思わない。自分の能力や性格に見極めをつけ、その範囲で生きていく人生
を、私はもちろん否定することはできない。そんな資格はない。だが、それは少なくとも
挑戦する人生とはいえないだろう。そして、挑戦なき人生は、その人に大きな驚き、ある
いは喜びも結局は与えてくれない、と私は信じる。

(広中平祐『改訂 学問の発見』佼成出版社)

1. 人は一生の間に自分の才能や資質をすべて発見することができる。
2. 自分の才能や資質を伸ばす可能性を求め続けるべきだ。
3. 自分の才能や資質はむしろ他人からのほうがよく見える。
4. 自分の才能や資質の限界を早く認めるべきだ。

問 14

次の文章で、企業が実施すべき環境対策の、最近の傾向を表した例はどれですか。

環境問題は、人間がさまざまな活動を行うにあたって、いまや避けることのできない大きな課題となっている。なかでも、企業は鉱物や燃料などの大量の資源を自然から得ると同時に、自然に対して多量の廃棄物や二酸化炭素（CO₂）、有害化学物質を排出するなど、環境に対して直接的な負荷を与えている大きな存在である。

そのため、環境を保全するには、まずは企業に環境対策を実施させることが重要という考え方が一般的になっている。特に最近では、工場や事務所における環境負荷だけでなく、販売した製品が消費者の手に渡った後についても企業が責任をもつべきだという考えが強くなっている。

（富士総合研究所編『環境支援ビジネス最前線』工業調査会）

1. 販売後も環境に悪い影響を与えない製品をつくること
2. 工場から排出するものは、本来自然界にあるものだけにすること
3. 工場で鉱物や燃料など資源を大量に使わないように努めること
4. 従業員が働きやすいように、安全な環境を提供すること

問 15

次の文章の（ A ）に入るものとして最も適当なものはどれですか。

西洋の文化を急激に取り入れるまでは、日本は大家族的であった。子どもたちはそのようななかで「自然」に育てゆくことによって健全に育っていった。ここに健全というのは難しいことで、言うならば自然に悪を経験することもそのなかに内包することなのである。つまり、親がいくら子どもを善い子にしようとしても、子どもも多く、親も忙しいし、子どもは（ A ）、それを自ら克服してゆくことによって成長したのである。ところが、現代では子どもを「自然」に育てることは難しくなっており、管理が行きとどき過ぎて、人工的な善い子をつくりあげることが多くなっている。反抗期が来ても自然に育ってきた子どもは自然の許容範囲内で行動するが、人工的善い子は自然の範囲をこえてしまうことになる。ここに詳述しないが、現代における子どもの多くの問題の背後に、育児における「自然」の消滅の問題が存在していることはよく理解できるであろう。

（河合隼雄『宗教と科学の接点』岩波書店）

1. 「自然に」生きてゆくのに必要な善いことを体験し
2. 「自然に」生きてゆくのに必要な悪いことを体験し
3. 「人工的に」生きてゆくのに必要な善いことを体験し
4. 「人工的に」生きてゆくのに必要な悪いことを体験し

問 16

次の文章で筆者は、リサーチについて、われわれが気づきにくいことは何だと述べていますか。

研究課題をどのように検討するか、どうリサーチをおこなうかは、研究者の心理、気の持ちようにかかわっていると言えよう。そして研究者の心理は、研究者の住むその世界をかなりの程度反映するものである。研究者が信じるもの、研究者が知識のかたちとして認めるものは、往々にして、彼が置かれた社会的・文化的コンテクストを映し出したものにすぎない。リサーチとは客観的なものであり、研究対象である何らかの現象についての「真理」や「事実」を追究するものだと、われわれは考えがちである。だが、外部からわれわれに及ぶさまざまな影響について、われわれは必ずしも気づいているわけではないのである。

(ハーバート W. セリガー他著 土屋武久他訳『外国語教育リサーチマニュアル』大修館書店)

1. 客観的なものであること
2. 「真理」や「事実」を追究していること
3. 研究者の住む社会や文化を反映していること
4. 研究者本人以外の人に影響を及ぼすこと

問 17

次の文章で、食品に使用する添加物の種類が増えてしまう主な理由は何だと言っていますか。

ふつうに売られている食品を手にとつて表示を見ると、こんなに必要なのかと首を傾げたくなるほど、いろんな食品添加物や、添加物扱いではなくても、見たことのない材料が含まれています。食品を作る上で利用されたり、保存性を高めたり、色や香りや味を強調したり、粘りや甘みなどの性質を強めるために使われています。これらを使うことで、多少、原材料の質が悪かったり、不ぞろいがあったりしても、見事に均一化した、見た目にも味にも遜色のない食品を作ることができるというわけです。また、調理の経験がとぼしい従業員でも、同じ様なものを作ることができて、人件費も安くなります。流通の事情に合わせて、保存性もずっと高めています。

それぞれの目的で添加物が使われ、さらにはAの添加物の苦みを消すためにBの添加物が使われる、といった具合にも用いられますから、どんどん多くなってしまいます。

(「もっと食品を知るために 15 Q&A」『暮らしの手帖』2005年10・11月号 暮らしの手帖社)

1. 添加物を使うと原材料が悪くても、見た目がよくなるため
2. 添加物を使うと経験がない従業員でも均一の食品が作れるため
3. 一つ一つの食品添加物の使われる目的が異なるため
4. 添加物は食品の保存性を高め、流通期間を長くできるため

問 18

次の文章の下線部「自分の趣味を学問にしてきた」の意味として、適当なものはどれですか。

好きなことを好きなように勉強すると言っても、それが単なる趣味にとどまるか、学習や学問という発展性のあるものになり得るかでは大きな違いが生じる。ただ知識を集めるだけなら趣味だが、その知識の中に何か法則的なものを発見しようとしたり、その知識が正確なものであるかどうかを厳密に吟味し考証しようとしたり、他の何かと比較して別のことと結びつけて考えたりしようとするところ学問になる。

私はそんなふうにして自分の趣味を学問にしてきたし、それを文章にして売って職業にすることもできた。

(佐藤忠男「大学でも勉強ぐらいはできる」岩波書店編集部編『大学活用法』岩波書店)

1. 自分が好きなことに関する知識を増やしてきた。
2. 自分の専門分野が次第に好きになってきた。
3. 趣味というものの本質について学んできた。
4. 興味のある事柄について分析し、考察してきた。

問 19

次の文章の内容と合っているものはどれですか。

あなたは声帯で作られた音を、体のさまざまな部分で共鳴させることができます。

この時、楽器のボディーにある部分 (=体) が緊張しては、声はか嘎れたり、響かなかつたり、思いどおりの「こえ」が出せなくなります。

つまり、「発声」と「身体」は、分けることができないのです。

発声の本の中には、「正しい姿勢をして」とだけ書いて、後は、声のメカニズムを詳しく説明しているものもあります。

問題は、この「正しい姿勢」というやつで、これができない限り、いくら発声レッスンを続けても意味はないのです。

実際、ワークショップでも、「発声がうまくできないんです」という人の体は、胸に張り詰めた緊張があったり、ヒザが完全にロックして(突っ張って)いたり、首の筋肉がギョッとしまつていたりします。

そういう人に対して、「発声」だけをいくらレッスンしても、残念ながら効果はありません。
(鴻上尚史『発声と身体のレッスン—魅力的な「こえ」と「からだ」を作るために』白水社)

1. よい姿勢を保つためには、ヒザに力を入れて立つことが必要だ。
2. 発声の基本は、声が出るメカニズムをよく知ることである。
3. よい声を出すためには、身体が緊張していないほうがいい。
4. 発声は短期間の練習でうまくできるようになるものではない。

問 20

次の文章は「学習」と「成熟」の違いについて述べています。(A)に入るものとして最も適当なものはどれですか。

成熟は、反応を生み出す身体各部——ときには反応メカニズムと総称される——の生物学的成長、発達である。成熟は、学習と違って、反応がまったく起こらずに、したがって練習が行なわれなくても生じうる。学習は、それが生ずるための必要条件として、少なくともある練習を必要とするので、その点で明らかに成熟とは異なっている。

もう一つの相違点は、成熟は、なんら学習が存在しなくても進行するのに対し、ある種の学習は、(A)点にある。簡単で明確な例をあげれば、子どもは、足が十分強くなるまでは、歩くことを学習できないだろう。それほど明確にはいえないにしても、学習は、より成熟した有機体では、しばしばより早く、効果的に進行するということがある。この意味の成熟は、人間ではほぼ 25 歳までに完成される。

(R. A. Champion 著 中島力他訳『基礎心理学 第2巻 学習とアクティベーション』誠信書房)

1. 成熟を、進行させるために必要だという
2. 成熟が、どの段階にあるかに関わらず、進行する
3. 成熟が、十分に完成しても、進行しない
4. 成熟が、ある適当な段階に達していなくては、進行しない